

# キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

地域全体で子どもを見守り育てる



明戸婦人会  
会長 梅澤克江さん  
(明戸小学校学校運営協議会委員)  
**地域全体で子どもを見守り育てる**

子どもたちの登校を地域ぐるみで見守る取り組みとして、平成30年10月から開始された明戸小学校の『朝の学校さんぽ』。子どもの見守り役として、学校までの道のりを地域住民が散歩を兼ねて参加するこの取り組みにおいて、参加者の安全を確保し、防犯活動として目立つように有志児童によって『たすきづくり』が行われました。そして、この児童による『たすきづくり』に学校、保護者と共に協力したのが、明戸婦人会の皆さんです。

今回の『たすきづくり』のきっかけと制作時の様子を婦人会の梅澤会長に伺うと、「普段から小学5、6年生のミシンの授業をサポートしているので、婦人会が役に立てると思い協力しました。たすき



▲『たすき』の縫い目を見ながら、児童と共に行う次の工程について確認する婦人会メンバー。

制作では、子どもと地域の話なども交えたコミュニケーションを取りながらサポートをするよう心掛けていました。今は核家族で、親以外の世代の人とあまり交流がない児童もいるので、こういうふれあいも大切ですね。」と笑顔で話してくれました。

学校運営協議会や婦人会などの協力により作成された『たすき』は、遠くからも目立つ黄色の生地に学校のマークがプリントされ、今では明戸地区の朝の学校さんぽ参加者のトレードマークとなっています。

6月25日には、参加延べ人数が1万人を達成した『朝の学校さんぽ』。学校・保護者と共に婦人会をはじめとした地域住民が一体となって未来を担う子どもたちの成長を今日も温かく見守ります。

# L・フォルテ

男女共同参画情報コーナー

ともに認め合い 支え合う 元気と笑顔で参画するまち ふかや  
L・フォルテは、深谷市男女共同参画推進センターの愛称です。このコーナーでは、男女共同参画に関する情報を皆さんに紹介します。

男女共同参画政策課 ☎574 - 6643

## 『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ』とは？

皆さんは、『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ』という言葉をご存じですか。『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ』とは、『性と生殖に関する健康と権利』のことで、女性が身体的・精神的・社会的に健康を維持しつつ、子どもを産むかどうか、産むとしたらいつ産むか、何人産むかを自己決定する権利などのことを言います。

女性は『成人したら早く結婚して子どもを産み育てる』という時代から、高度経済成長期を経て、現在では『子どもを産んでも仕事を続けて社会にも貢献しながら、老後も健康に過ごしていく』というライフスタイルに変化しています。

このため、市では生涯を通じた心身の健康づくりや健康管理、また相互の性を尊重する教育などを実施していますが、多様化する女性のライフスタイルに人々の意識が追いつかず、生きづらさを感じているかたも少なくありません。

男女（みんな）の元気と笑顔のためには、男性も女性も互いの性を尊重し、性や健康に関する自己決定権を認め合うことが大切ではないでしょうか。



ふっかちゃんの日常から  
深谷が見えてくる

## ふっか 散歩

84 内山峡（長野県佐久市）



◀ここ内山峡は、険しい峰々が立ち並んでいて、さまざまな形の奇岩怪岩を目にしたよ～！  
若い頃の栄一翁もこの風景を見て感動したのかなあ～？  
栄一翁の詩碑がある場所は、駐車場などがないので見学に行く場合は注意してねえ～。



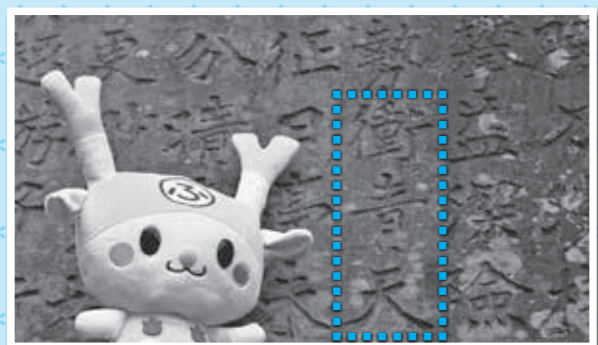
### ふっかちゃんのつぶやき

深谷市役所の新庁舎がオープンしたよ！！  
16万個のレンガを使った庁舎へぜひ遊びに来てねえ♪



▲これは、栄一翁が詠んだ内山峡の漢詩が刻まれた詩碑だよ。内山峡の地元住民が栄一翁の詩に感動して作ったんだってえ～。と～つても大きな岩壁に詩碑が埋め込まれて、内山峡の景色とマッチしているなあ～。

長野県の内山峡にやって来たよ！ここは、若き日の渋沢栄一翁が家業の藍商売のために旅をした時に来たんだって！その時に詠んだ詩が栄一翁が主人公に決定した令和3年の大河ドラマのタイトル『青天を衝け』にも関係しているんだよ～。



▲『青天を衝け』の勢いで肘をまくって登り、白雲を突き抜ける気力で手に唾して進む内山峡で詠まれた漢詩の一節。

## 心の広場

川本南小学校3年(現4年)  
関口 結花さん



### やさしい気持ち

わたしが、二年生の時のできごとです。

そうじの時間がおわって、昼休みになりました。わたしは、だれもいっしょに遊ぶ人がいなくて。しかたなく一人で遊ぼうとした時、Aちゃんが、「ゆい花ちゃん、いっしょに遊ぼう。」と、声をかけてくれました。わたしは、うれしくなって、「いいよ。」と、言いました。わたしは、「Aちゃんは、やさしいな。」と思いました。Aちゃんとシーソーやブランコなどをして、たくさん遊びました。楽しかったです。

一人でいる時は、「さみしいな。」と思いました。でも、Aちゃんと遊んでいるうちに、とてもうれしい気持ちになりました。Aちゃんが、「いっしょに

遊ぼう。」と言ってくれなかったら、わたしはずっとさびしく一人で遊んでいたかもしれません。

三年生になって、わたしはなかのいい子がたくさんできました。休み時間は、いっしょに絵をかいたり外遊びをしたりしています。一人でいることは、なくなりました。友だちといっしょだと楽しいです。みんな笑顔いっぱい。今でもAちゃんとなかよしで、いつもいっしょに遊んでいます。Aちゃんは、やさしいです。こまっている友だちがいると、そらだんにのってくれます。わたしもAちゃんみたいに、だれにでもやさしくなかなくできるようになりたいです。

